

## 平成28年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	Bコース：海洋動物の受精・発生・再生のメカニズムを探る		
実習内容	<p>本実習期間中においては、下記の内容を同時に実施するので、その中から参加コースを選択する。最終日には成果発表会を行う。なお、海外からの協力教員が参加する予定であるため、一部、英語で実施する。</p> <p>① 受精における卵と精子の生理化学：受精時に見られる卵内カルシウムの周期的上昇，精子の運動開始・走化性・先体反応などについて、蛍光プローブを用いたカルシウムイメージング、画像解析装置等を用いた精子運動解析法を実習する。</p> <p>② 海産生物の比較形態学と再生の観察：ニッポンウミシダ腕の再生過程を外部形態と内部組織の両面から観察する。あわせて組織学的観察の手法を習得する。</p> <p>③ 海産生物の分子発生生物学：ウニの正常発生を観察すると同時に、パーティクルガンを用いたバフンウニ受精卵への遺伝子導入を行い、胚における導入リポーター（Luc）融合遺伝子の発現レベルの定量を行う。</p>		
実習内容キーワード	受精、画像解析法、発生学、遺伝子導入、再生、組織学		
担当教員氏名・所属・役職名	赤坂甲治 東京大学・大学院理学系研究科・教授 近藤真理子 東京大学・大学院理学系研究科・准教授 吉田 学 東京大学・大学院理学系研究科・准教授 黒川大輔 東京大学・大学院理学系研究科・助教 大森紹仁 東京大学・大学院理学系研究科・特任助教		
協力教員氏名・所属・役職名	未定（海外から招聘予定）		
対象学生・学年	学部 2-4 年生主体 (大学院生も可)	開講期間	2017 年 2 月 27 日 (月) - 3 月 3 日 (金) (予定)
開講大学・施設名	東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所		
施設の住所	神奈川県三浦市三崎町小網代 1024		
電話	046-881-4105 (代)	F a x	046-881-7944
e-mail	<a href="mailto:misaki@mmbs.s.u-tokyo.ac.jp">misaki@mmbs.s.u-tokyo.ac.jp</a>	Web Site	<a href="http://www.mmbs.s.u-tokyo.ac.jp/">http://www.mmbs.s.u-tokyo.ac.jp/</a>
交通案内	新幹線、JR線・品川から（京急線快特・約70分）→三崎口 [駅改札口出て左]（京急バス油壺行・約15分）→油壺→徒歩2～3分で実験所正門 羽田空港から（京浜急行空港線・約10分）→京急蒲田 [乗換]（京急線快特・約60分）→三崎口（以下同上）（Web Site参照）		
費用	約 15,000 円（実習全期間の宿泊費・食費を含む）		
授業科目名	特別臨海実習		
単位数	1（東大理学部以外は認定できないが、代わりに受講証を発行）	定員数	約 15 名
授業料の徴収について	徴収しない		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	原則として先着順、定員を大幅に超える場合は抽選。同一大学在學生に偏る場合は調整する。申込状況の問い合わせは e-mail で。		
選抜結果連絡法	原則として e-mail で行い、不可能な場合は Fax、郵便等を用いる。連絡は個人に対して直接行うので連絡先を明記すること。		